

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	北アルプス山麓森のわさびによる森林活性化プロジェクト事業
事業主体 (連絡先)	北アルプス山麓わさび生産組合 (TEL 0261-62-3053)
事業区分	森林づくりと林業の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	733,868 円 (うち支援金 : 587,000 円)

事業内容

放任化が進み、周辺田畑等への野生動物による獣害が増加している近年の森林において、林間地の適度な遮光と冷涼な気候が適する陸わさび栽培を振興して、森林の再生と活性化を目指す。

そこで、以下について取り組んだ。

- ① 林間地ほ場の生産拡大のため、新たに 20a のほ場を整備した。
- ② 林間地で発生する害虫の防除体系を確立し、巡回して各圃場を巡回した。
- ③ 「森のわさび」を活用した加工品開発・調理体験の実施した。



【新たに整備したほ場のわさび】

事業効果

- ① 林間地における陸ワサビほ場の土壌分析を実施したことで、林間地ほ場の土壌特性が把握でき、栽培振興に向けて適切な改善(酸度矯正、有機質施用等)が施せた。
- ② 林間地の陸わさびほ場を、新たに 20 a 拡大(350→370 a)した。
- ③ 陸ワサビを用いた「わさびおやき」「わさび羊羹」の改良し。商品化に向けて目途が立った。また、消費期限に係る分析も行い、販売に向けて前進できた。
- ④ 陸わさびを使った消費者向けの調理講習会を開催し、林地の再生と活用に向けた理解が深まった。

【目標・ねらい】

- ① 獣害を軽減(緩衝帯効果)
- ② 林地の栽培を増加 350a→370a
- ③ 森林再生への理解を広める

※自己評価【B】

【理由】

- ① 鳥獣害被害抑制に向けた効果は明らかであるが、これを数値化して示すことができなかった。
- ② 高齢化等による栽培者の減少や気象的要因もあったが、生産量が減少した。

今後の取り組み

- ① 陸ワサビ栽培による獣害の抑制や森林の活性化に向けて、本年度に実施した土壌改善効果を次年度に検証し、林間地栽培における栽培指針として、農業改良普及センター等指導機関と連携して栽培面積を拡大し生産量の増加に繋げたい。
- ② 加工品については、試作品に対する評価を踏まえて更なる改良を加え、地域の直売所、みやげ店等の実需者に実際に商品として提案し、販売化をめざしたい。